

「地域における公益的な取組」

1 施設名

沼木敬寿園

2 取組の名称

サロン活動、居場所作りの取り組み

3 取組内容について

① 実施に至る経緯：

事業所において職員の資質向上を目的に、研修の年間計画を立案している。その中で、地域住民との交流機会の構築や事業所の啓発等を目的に研修や活動の幅を広げてきた。コロナ禍で縮小・中止した期間を経て、段階的に通常の開催形式に戻ってきている。

② 具体的な内容：

地域包括支援センター主催の認知症カフェ、オンライン認知症カフェに職員が(年計4回)参加し、日頃の取り組みや事業所の紹介、レクリエーション活動などの実施を通して、地域住民と方との交流を図っている。町内会の地域サロンへ職員が出席し、日頃事業所で取り組んでいる体操や脳トレ活動を一緒に実施した。

③ 参加対象者及び参加費用：

参加対象者は地域住民の方々である。それぞれの活動について、主催されたものに参加する形であり参加費は発生していない。

④ 予算や人員体制など：

地域の方が施設に来園してのサロン開催はならず。再開する時には、開催方法や予算等について再度検討していく。

⑤ 取組による変化や効果

コロナも第5類へ移行し、地域の方との交流の機会が少しずつ増えてきている。認知症カフェやサロンへの参加を通して、関係各所の方々との交流や情報交換の場にもなっている。

⑥ 今後の展望：

地域の方々との交流はもちろん、施設の取り組みやサービスについて知って頂ける機会として、今後も積極的に参加していく。地域密着型施設としての役割を認識し、地域高齢者の交流拠点や相談窓口としての役割を担えるよう取り組んでいく。

4 取り組みの様子

